

# 昔おきなわ風景探索

沖縄県公文書館所蔵の写真と空中写真

Q. どこでしょうか？

1945年6月



地図を表示

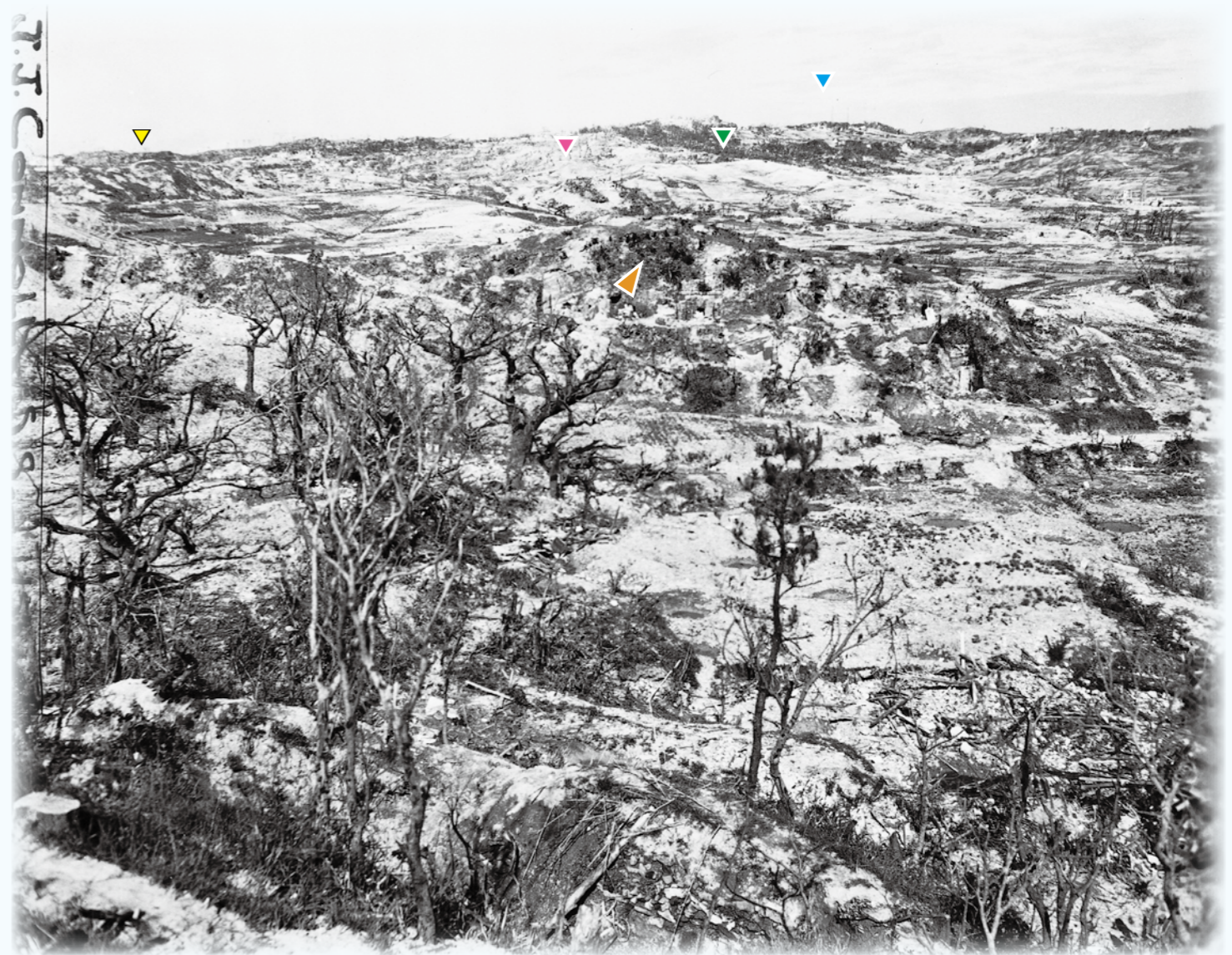
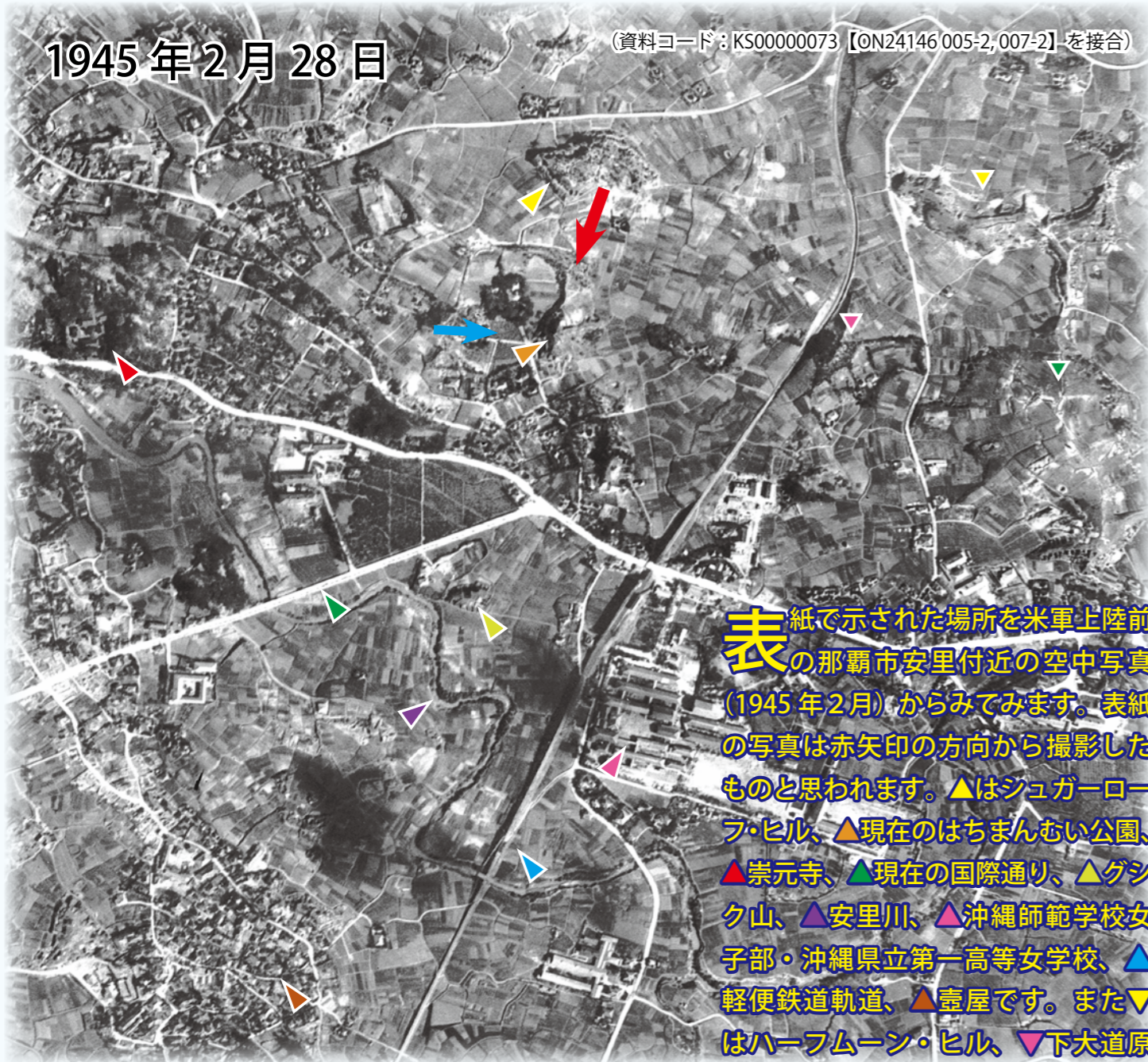
(写真番号：92-13-3をカラー処理)

A. 那覇市安里付近

シュガーローフ・ヒル（キラマチーチ\*）からみた壺屋・与儀方面です。手前の丘は、現在のはちまんむい公園、その背後に現在の国際通り、グシク山\*、軽便鉄道軌道、安里川がみえます（次頁参照）。写真の遠方をみると、煙がたちこめている▼は与儀集落付近、▲は壺屋集落付近、▼は旧刑務所付近で背後には鉄塔が確認されます。写真からは、旧真和志村の田園風景が広がっていたことが想像されます。

1945年2月28日

(資料コード: KS00000073 [ON24146 005-2, 007-2] を接合)



写真⑤ 正面に見える丘は▲現在のはちまんむい公園（安里羽佐間原古墳群）で、表紙の写真を裏側からみた光景になります。前頁空中写真の青矢印の方向から撮影したと思われます。遠方には、▼ハーフムーン・ヒル、▼下大道原\* 付近の丘、▼大道毛\*、▼首里崎山町の鉄塔が確認されます（本リーフレット No.13 参照）。手前の木立は安里八幡宮一帯と思われます（本リーフレット No.15 参照）。米軍の説明ではこの辺一帯を「クレセント・ヒル」と呼んでいるようです。（1945年6月）（写真番号：91-09-4）



写真① 表紙と同じ写真です。手前の丘は、▲現在のはちまんむい公園、その背後に▲現在の国際通り、▲グシク山、▲軽便鉄道軌道、▲安里川がみえます。（1945年6月）（写真番号：92-13-3）

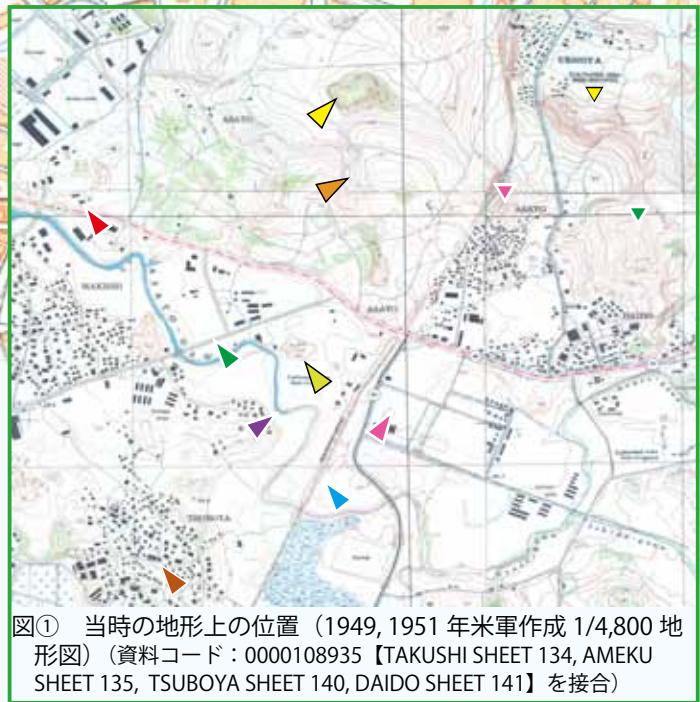
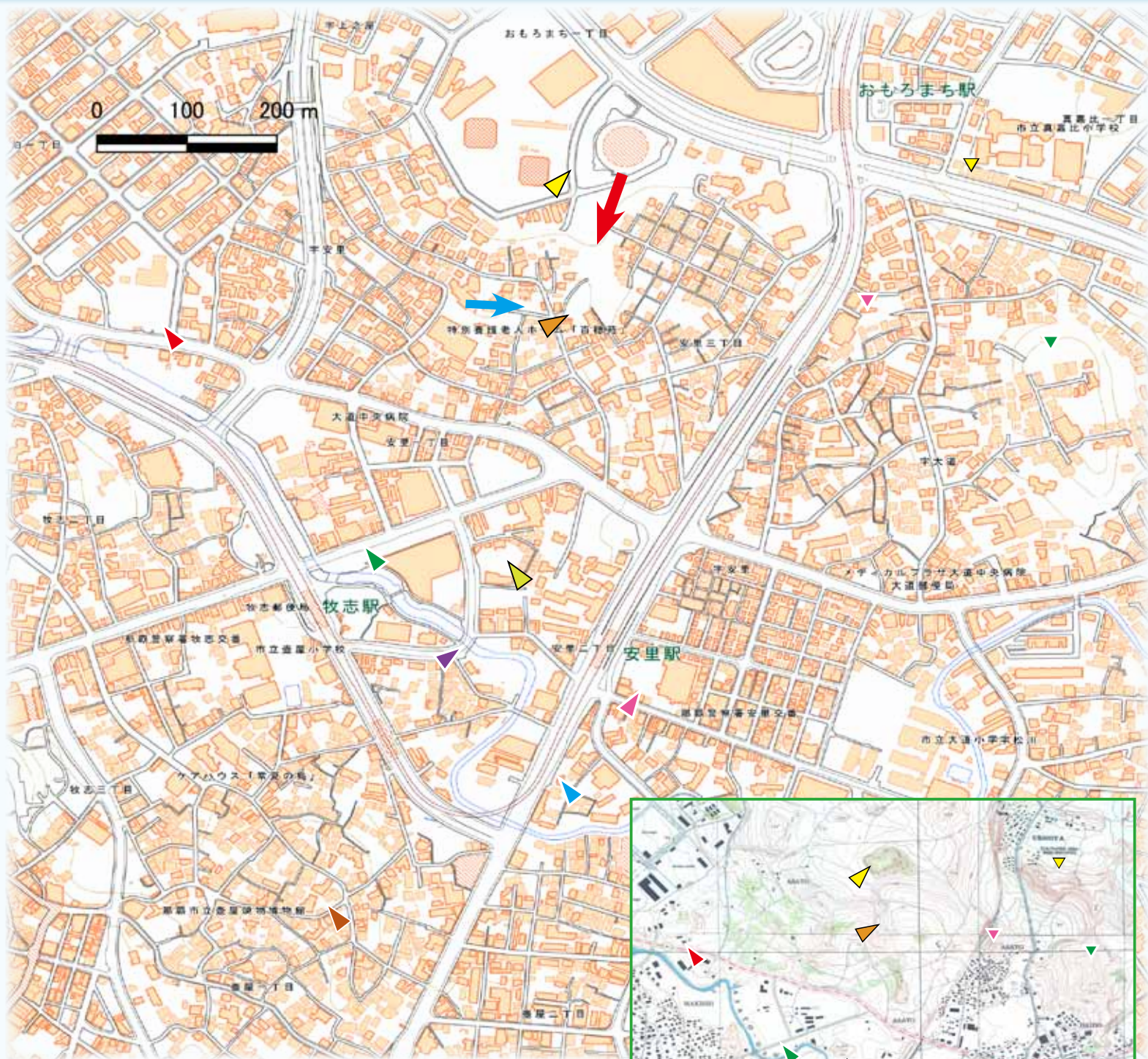
写真② 写真①のはちまんむい公園を低い位置から撮影しているようです。地形の他、道路や草木の様子から①との一致点を探ることができます。（1945年6月）（写真番号：92-12-2）



写真③ おそらく、写真②の撮影地点付近から右側をみると写真のようなシュガーローフ・ヒルの頂上が見えることでしょう。シュガーローフの南側斜面のようです。斜面に残る草木が空中写真からも確認できます。（1945年6月）（写真番号：93-14-3）



写真④ シュガーローフ・ヒル（写真右側）を北西側からみた写真です。写真③の反対斜面になりますが、頂上に残る木立なども場所を特定するヒントになります。戦闘の生々しさが残っています。（1945年5月）（写真番号：93-12-1）



前頁の矢印の位置を現在の地図（国土地理院）に落としてみました。場所は安里三叉路付近になります。地図上の矢印や三角印は空中写真とほぼ同じ位置になります。また、右の図①には、当時の地形図を示し、同じ位置に三角印を入れました。

図① 当時の地形上の位置（1949, 1951年米軍作成 1/4,800 地形図）（資料コード：0000108935【TAKUSHI SHEET 134, AMEKU SHEET 135, TSUBOYA SHEET 140, DAIDO SHEET 141】を接合）

注 \* 那覇市史 1979『那覇の歴史民俗地図』

昔おきなわ風景探索 No. 14

発行日：令和7年（2025）10月25日  
 編集執筆：当山昌直（1951年生）  
 発行：（公財）沖縄県文化芸術振興会 公文書管理課  
 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川148-3 沖縄県公文書館内  
 電話（代表）098-888-3875 FAX: 098-888-3879  
 増刷版 ※一部修正しました

沖縄県公文書館デジタルアーカイブ

アメリカ統治下にあった頃の写真や空中写真を公開しています。

